



情報交流ひろば

ふらっと



藤井寺市役所
1階ロビー

パンフレットスタンド

憩いの空間



ちょっと立ち寄っておしゃべりしたり、
ミーティングなどいかが？



市政情報をはじめとするチラシ等を
カテゴリ別に置いています。

「ふらっと」に、ふらっと立ち寄って

人と人をつなぐ市民活動マガジン

HITOTSUNAGI

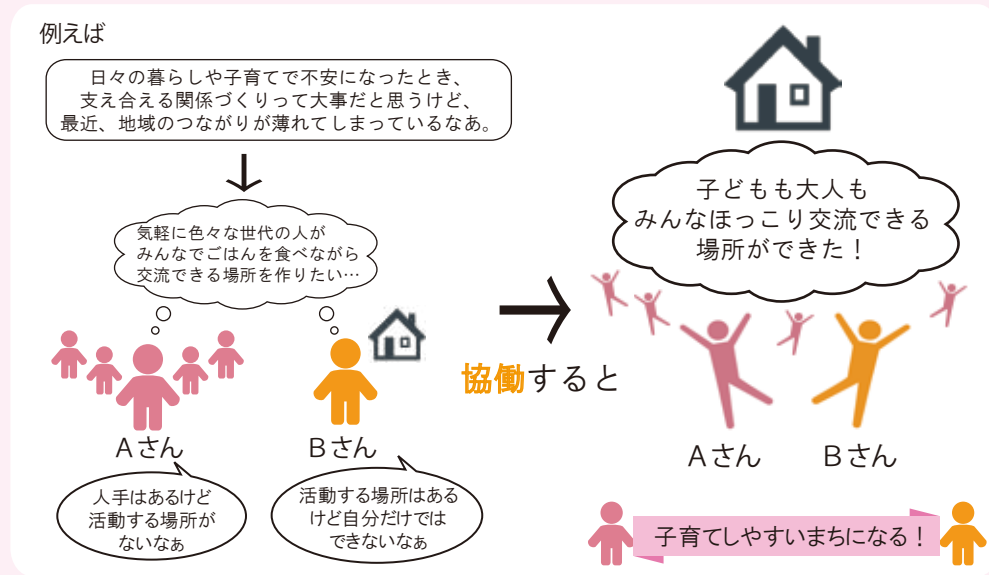
ひとつなぎ
Vol.4

市民活動やボランティアを
はじめたい人・している人
必見！

- P.1 協働のまちづくりと市民活動
- P.2 ちょっと気になる市民活動のギモン
- P.3 対談～点より面で勝負～
- P.7 まち活インタビュー
- P.9 活動をシルミル
- P.17 自治会 de ボランティア活動！

協働のまちづくりと市民活動

“協働”という言葉を知ったことはありますか？ みんながそれぞれ“まち”に関わり、時にはお互いの長所を生かしながら協力しあうということです。“協働”で“まちづくり”をすることで、さらに住みやすい“まち”になっていきます。



今や“まちづくり”というと施設や道路を作るだけではありません。

例えば、「公園や道路の清掃活動」・「子どもや高齢者の見守り活動」・「子育てママが一息つける場づくり」・「野良猫が繁殖しないための仕組みづくり」・「食の知識を広めるための料理教室」など、様々な取り組みがあります。

その中で“まち”に住んでいる人・働いている人・関わっている人の活動を“市民活動”と呼びます。“ひと”と“ひと”がつながることで“市民活動”をさらに素敵なものにしていきたい、そんな思いでこの冊子「HITOTSUNAGI ～ひとつなぎ～」を発行しています。

この冊子では、様々な市民活動やその醍醐味を紹介します。

ぜひ、あなたも市民活動をはじめてみませんか？



ちょっと気になる市民活動のギモン??

ギモン①

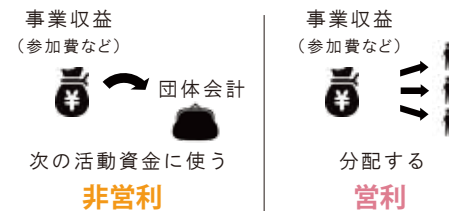
新しく活動を始めたいけど、何から始めればいいかな？

まずは、「何のために」・「誰に対して」・「どのようなことを」・「どのようにするか」を整理して、事業計画を立てましょう。他の人に、または、知人などに計画を話してみても、第三者の視点からアドバイスをもらうことも大切です。そのような場として、市では市民活動相談会を行っています。ぜひ活用してみてください。

ギモン③

参加費をいただいたり、人件費をお支払したりしたら営利になるの？

活動によってお金を集めたら、営利活動になるのではと思う方もいるのではないのでしょうか？営利とは、参加費などをもらい、収益が出た場合にそれをメンバーで分配することをいいます。次の活動資金として使うのであれば非営利といえます。また、人件費は労働の対価であって、分配にはあたりません。



ギモン②

継続的に活動を続けていくためにはどうすればいいの？

一人が中心人物になり続けるのではなく、メンバーで役割を分担することが大切です。また、活動費用に関しても、会費で賄うのも一つの方法ですが、それだけではしんどくなっていくもの。参加費をいただいたり、寄付金を集めるなど、会費以外の資金を集めることも考えてみましょう。

ギモン④

活動を効果的にPRするには？ホームページ？チラシ？SNS？

メンバーや参加者を増やすために、「ホームページやSNSを活用しよう！」そんな人も多いのでは？でも、まずは「どんな人に情報を見てほしいか」を考えてみましょう。例えば、シニア向けなら、SNSよりも、ロコミやチラシのほうが効果的では。また、そのチラシをどこで配るか、どんな内容が興味を引くのかも意識しましょう。



市民活動に関する疑問やお悩みなど、お気軽にご相談ください！

市民活動相談会

詳しくは [藤井寺市 市民活動相談会](#) [検索](#)

専門のスタッフが個別でご相談をお受けします。お気軽にお立ち寄りください。市役所1階情報交流ひろば「ふらっと」で月2回実施しています。





点より面で勝負。

What's Michael?

小谷 温郎

Kotani Atsuo

デラバル実行委員会副実行委員長。藤井寺駅前の美味しいカクテルが自慢のバー「What's Michael?」の店長。

藤井寺市商工会

中野 真奈美

Nakano Manami

笑顔がはじける商工会職員。デラバルの運営をサポート。活気あふれるまちを目指しています。

EL.Camino

杉野 仁紀

Sugino Masanori

デラバル実行委員会実行委員長。フクダ公園そばのイタリアン・スパニッシュバル「EL.Camino」の店長。

藤井寺駅周辺まちづくり協議会

三宅 一弘

Miyake Kazuhiro

デラバル実行委員会会長。市内に事務所を構えるデザイン会社「slur creative design production」の代表。

一藤井寺まるごと呑み歩き、飲食店をハシゴするイベント「デラバル」も今年度で9回を数えました。市民の皆さんにもかなり浸透してきたのでは？

中野 そうですね。デラバルで配っているリーフレットを普段の店探しにも使ってくれている人もいます。初めて行く飲食店って、入りづらさを感じることがありますよね？元々デラバルを始めたきっかけも、イベントを通じて、店や店員さんの雰囲気を知ってもらって、そのハードルを下げられたらということなんです。

三宅 特に路地裏や2階にあるお店は入るのに勇気がいりますよね。でも、不思議なもので、自分の行きつけの店を探そうという時は、逆に隠れ家的な店を求めませんか？要するに行ったことがないから入りづらいわけで、一度行けばハードルは下がるんですよね。

小谷 ただ、これからの課題として、イベントの時だけでなく、普段にもリピートして来てもらうためにどうしていけばいいか。これはイベント自体の課題でもあるし、参加店舗の課題でもあって。来てもらったお客さんにどうPRして、どう感じてもらうか、店の手腕が問われるところでもあります。ただ、僕も一店舗として、デラバルに初めて参加したときは、店としてどう宣伝していいか分からなくて…。

杉野 小谷さんがデラバルの企画会議に参加してくれたのは最近なんです。

三宅 もともと知り合いだったわけじゃないんですよね。確か BBQ のイベントで杉野さんと知り合ったんですって？（笑）

杉野 そうそう（笑）。1人のお客さんが自分の行きつ

けの3店舗に声をかけて BBQ イベントを企画したんです。それに各店主が常連さんを招待してね。店側もお互いの常連さんを知ることができるし、それぞれの店に来てお客さん同士が繋がってくれたら楽しいんじゃないかって。回を重ねることに参加者が増えていて、今年は 70 人くらいだったかな。さすがに3店舗じゃ、もてなすのもキャパオーバーで（笑）。

小谷 それで、店舗数を増やそうってことで、僕のお店も誘ってもらったんです。

杉野 それをきっかけに仲良くなって、デラバルの企画会議にも参加してくれるようになったんだよね。

小谷 それまでは、デラバルに店として参加しても、どんなPRをしていいのかわからない、イベントにどんなルールがあるのかもわからなくて。でも、企画会議に参加

してみると、デラバルって驚くほど自由でした。販売促進のPRは基本的に店で自由にできるんです。それに、会議に参加することで、いろんなつながりができたっていうものがありました。

中野 店の営業時間はほぼ同じだから、店主同士実はあまりつながりがいいんですよね。この飲食店へ食べに行ってみようと思っても営業日が同じだったら行けないでしょ。

杉野 実は、デラバルもそうなんですよね。当日は店の営業で手一杯。でも、企画会議に出てきてくれる店舗同士はつながって仲良くなれたりするんですよ。

中野 意見出し合おうというときは、このメンバーだけじゃなくて、デラバルに参加してくれたことのある店舗さんに声をかけて、プレスト[®]をするんです。

※プレインストーミング…集まってアイデアを出し合うことで、お互いに新たな発想を得るための会議

小谷 デラバルをどういものにしていきたいか、ある程度の方向性だけはこのメンバーで話して決めているけど、実際にどういやり方にするかはみんなで意見を出し合って作るんです。このメンバーですべて決めてしまうと絶対に問題が出てきたり、イベントの規模が小さくなってしまおうと思うんです。だから、プレストの時は誰でもウェルカム。もはや飲食店を経営してる人じゃなくても、お客さんでも参加してもらってOKなんです。

三宅 この仕組みがデラバルの良いところで、例えば、商工会だけで企画・運営を1から10までしてしまうと、店やお客さんの実際のニーズが分からずに“生きていない”イベントになると思うんです。でも、実際に商売している人やお客さんの意見を取り入れることで“生きた”イベントになるんですね。

中野 特に最近、店側からの意見や提案も多くなってきて。今、企画中の「デラバルキッチン&Bar」もそのひとつ。商工会としては実現に向けてサポートしていきたいなって。

小谷 店もまちに関わっていくことが大事かなと思います。まちを活性化しないことには人は来ないわけで、そしたら当然お客さんも少なくなる。だから、店がこういうイベントに関わるのには大きな意味があると思います。

杉野 藤井寺にわざわざ来てもらったり、住んでいる人に藤井寺で楽しんでもらうには、各店舗が個々に



頑張っても限界があると感じています。藤井寺は“点”ではなく“面”で勝負しないと。例えば、店同士がつながりを作ることで、来てくれたお客さんにお互いの店を紹介し合ったりしてもらおうとか。

小谷 自分の店の販売促進はもちろん大切だけど、まちおこしも同じくらい大切。つながりを作って、切磋琢磨しながら、相乗効果で盛り上がっていかないと。その1つが今から企画しようとしている「デラバルキッチン&Bar」なんですよ。

—新たな取り組み「デラバルキッチン&Bar」とは？

中野 市内の色々なイベントに、数店舗が共同で一つのブースとして出店するんです。それぞれの店舗がアイデアを出し合ってコラボメニューを作れたらと思っています。色々なお店の商品を一挙に楽しめるようにしようという取り組みです。

三宅 普段ごはんを食べに行って、この店のお酒と、あの店のフードやったら合いそうやなーと思うことありませんか？例えば、EL Camino(エルカミーノ)のピザを食べながら What's Michael?(ホワツマイケル)のカクテル飲めたら... みたいな。「デラバルキッチン&Bar」では、そういう夢のコラボが実現するわけですよ。

小谷 商品を出す店からすれば、チャレンジもできますよね。店では出してないけど、他の店がそういう商品を出すなら、ウチの店はこういう商品出して

みようかなとか。コラボして新しい商品作ってみようかなとか。お客さんからしても、この「デラバルキッチン&Bar」でしか提供できないものを楽しめる。

中野 普段関わりのない店と「デラバルキッチン&Bar」を通じてつながることで、お互いの技術を勉強しあって、また自分の店に活かすこともできるし、お互いの店主の人柄も知れますよね。ここから店同士が仲良くなるきっかけになればいいなと。

三宅 先ほどの話で“点”ではなく“面”で勝負するって概念的には分かるけど、抽象的ですよ。「デラバルキッチン&Bar」はそれを具現化するような取り組みなんですよ。1つのブースで色々な店舗が商品を提案し合うことで、提供できるものに無限の可能性が出てくる。

中野 あと、これは「デラバルキッチン&Bar」に限らないですけど、色々な人と協働することでできることの幅が広がるなど実感しています。それぞれ得意分野とネットワークがあって。店は、実際に商売をしている身として、どんなニーズがあるか知っている。でも、例えばワークショップを店でしたいから、材料を仕入れるための工場を知らないかとなれば、商工会の方が把握していますし。イベントをやるときには、藤井寺駅周辺まちづくり協議会のイベントの段取りのノウハウが活かされるし。それぞれが力を合わせることで、より効果的にできると思います。

小谷 今度、EL Camino と What's Michael? で合



同イベントをするんです。藤井寺市出身の写真家がいる、その個展の会場が EL Camino。そのオープニングアクトとして両店舗がフードとカクテルを出し合うという。「デラバルキッチン&Bar」のお試し版みたいなね。

三宅 コラボすることで、写真・フード・カクテル、どのチャンネルに興味がある人も参加できるんですよ。間口を広くとれるんです。

杉野 こういう取り組みをしようと思うのは、まちを活性化したいからなんです。特に若い世代、僕らくらいの世代って、遊んだり、飲んだりするなら大阪市内でというイメージが強いです。でも、色々な人がコラボすることで、市外に行くよりも楽しいことを藤井寺で作れ出せる気がするんですよ。

三宅 おしゃれなバーと昔ながらの居酒屋がコラボして、雰囲気としてはとてもおしゃれなんだけど、気さくなおっちゃんがおいしいものを出しながら面白い話をしてくれるみたいなのも面白いじゃないですか。そんな藤井寺の独自の魅力ができればいいなと思いますね。

中野 デラバルや「デラバルキッチン&Bar」を通じて、これからも色々なつながりを作って、藤井寺を元気あふれる元気なまちにしていきたいですね。

～飼い主のいない猫のトラブル 地域で解決！～

春日丘いぬ・ねこ会

活動のきっかけは思ったよりもシンプル！？

3年ほど前に、フェンスに挟まっていた野良猫を助け出したことがきっかけですね。それから半年後に、その野良猫が出産したことで、猫の数が増えて、近隣の家の庭にたびたび入っては庭の花壇を荒らしたり、糞をしたりと近所の人達も困っていたんです。どこに相談していいのかわからず、相談先を探していた時に、ある動物病院のホームページで、野良猫を減らしていく方法として TNR の取り組みがあることを初めて知って。詳しく聞きたくて、すぐに動物病院へ行きました。時間はかかるけど野良猫を減らすにはこれしかない!! と思いました。



※TNRとは、野良猫を捕獲して、不妊去勢手術を行い、猫を元の場所に戻すことで、一代限りの猫として地域で見守り、数年かけて地域から野良猫を減らす取り組みのこと。

野良猫問題を地域課題として認識

不妊去勢手術を受けた猫は元居た場所に戻すので、そこに住む人たちの理解と協力が必要です。どうしたら地域の人に餌やりやフン尿対策を協力してもらえるか悩んでいた時に、春日丘自治会の役員さんが私たちの活動に関心を持ってきて、役員会議で活動について話す機会をもらいました。最初は「本当に効果あるの?」と言われましたが、掲示板や回覧板での周知に協力してもらいとても嬉しかったですね。今はなんと春日丘自治会の野良猫問題の担当役員になりました。自治会の皆さんからは「野良猫問題の相談先ができた」と喜んでいただき、春日丘いぬ・ねこ会としては地域猫に対する理解を広めることができ、まさに“win-win”の関係が築けました!!



耳先に切れ込みが入っている猫を見かけたら見守ってあげてください!



▲春日丘いぬ・ねこ会の津上さんと不妊去勢手術を受けて耳カットされた猫

市民活動は継続していくことが大事

活動を通して感じたことは「がんばりすぎると長続きしない」ってことですね。使命感を持ちすぎず、できる範囲のことをするという考えで活動するぐらいが丁度いいかなと思います(笑)。もう一つは、つながりの輪を広げていくことですね。今の活動を続けていけるのも、自治会や動物病院、市役所などたくさんの方がつながりがあるからです。お互いの活動がつながることで活動の幅も広がり、やりたいことに近づけるといいますので、今後もこの二つの考え方は大切にしていきたいですね。

～子どもの居場所 ママの居場所 いろんな人の交流の場に～

笑わスペース

“ほっとできる場所”をつくりたい

活動のきっかけは、友人が子育て、仕事、家事と毎日奮闘している姿を見て、月に1回だけでも子どもと一緒にほっとできる時間を持ってもらいたいと思ったことですね。

でも私一人ではどうにもできないので母に相談したら、母も友人に相談したみたいで。母の友人が「私たちにも出来ることあるかな」と言ってくれたおかげで、子ども・親子食堂「笑わ食堂」を始めることができました。

「笑わ食堂」に協力してもらっている母の友人を私たちは「笑わマダム」と呼んでいます(笑)。仕入れのリストづくりから調理まで、今までの経験や知識が豊富なのでとても頼りになります。もちろんご飯も美味しいですが、最近はマダム達の面白い話も人気なんですよ!



▲メニューは毎回オリジナル!

新たな地域の交流拠点に

「笑わ食堂」に来てくれる人たちは、親子連れがほとんどです。この場所が「ただいま」「おかえり」と実家に帰ってきた時のように、ご飯を食べたり、話をしたり、たまには愚痴や悩みを言い合ったりと、居心地のいい地域の居場所にしたいです。

そして、今私が一番やりたいことは、地域に住む外国人にも気軽に来てもらえるような場所にする事です。知り合いもない、文化や習慣も違う方々だからこそ、地元の人と交流することでお互いのことを知り、理解を深めてもらいたい。そして誰もが地域の一員として、安心して暮らしていけるようなまちにしたいですね。



▲笑わの「わ」は笑顔のしるし! 代表の木下さんの想いが込められています!

ちょっとしたつながりが活動の源

いざやろうと言っても「机がない」「食器がない」など、無い無いづくしからスタートしました。いろんな人に取り組みの趣旨を説明したら、農家さん達からはお米や食材を提供してもらいました。本当にありがたかったです。栄養士を目指している大学生には、献立作りや盛り付けを手伝ってもらったりと、今や私たちの活動には欠かせない存在です!他にも、配膳を手伝ってくれる人、クチコミで宣伝してくれる人など、人とのつながりの大切さを実感しています。



年代を超えて楽しめる居場所を目指しています!ぜひお越しください!



藤井寺には、地域美化活動や子育て支援の活動など、藤井寺を元気にする市民活動団体がたくさん!

「どんな活動をしている団体があるの?」

「どんな人が活動をしているのかな?」

「私も活動に参加してみたいな!」

そんなあなたにお届けする市民活動団体紹介コーナーです!



手話サークルふじいでら

手話を学びながら、聴覚障がい者との交流を深めています。関係する施設での見学やボランティア活動も行っています。2019年に手話言語条例が施行される中、藤井寺市でも広く市民の方々に手話を知ってもらえるよう活動しています。

活動場所 福祉会館
活動日時 水曜日 19時～21時
 ※第2・第4週は10時～12時も活動
問合せ先 太村 072(953)5882



自助具の会 なでしこ

生活に不自由を感じている高齢者や障がい者が、少しでもスムーズに生活を送れるようにと、自助具や介助具を作っています。ほかにも、体が不自由になって着られなくなった服のリフォームも行っています。和気あいあいとした雰囲気です。

活動場所 福祉会館
活動日時 第2・4金曜日 10時～16時
問合せ先 糀谷 072(953)3526



藤井寺市朗読の会 ひびき

目の不自由な方など、活字での読書が困難な方に、毎月「声の広報ふじいでら」「声の雑誌ひびき」など、対面朗読や音訳CD・デージー図書の作製を行っています。リスナーさんの「毎月、楽しみにしていますよ」の声を励みに、朗読の勉強に力をいれています。

活動場所 図書館・福祉会館・アイセルシュラホール
活動日時 不定期
問合せ先 図書館 072(938)2197



さといもの会 (子育て応援楽しみ隊)

0～4才までのお子さんを持つママを応援しようと「さといもさろん」と「さといも文庫」を開催。絵本の読み聞かせ、わらべうた遊び、絵本の貸出、お散歩やお昼ご飯を食べたり。スタッフは、子守りとおはなしが大好きなメンバーや元保育士・看護師・栄養士。お気軽にお越しください。

活動場所 専念寺 (津堂 2-4-3)
活動日時 さといも文庫 第1木曜日 10時～11時30分
 さといもさろん 第3木曜日 10時～12時30分
問合せ先 細木 090(9116)4093



NICE! 藤井寺バンド

「認知症になってもいきいき暮らせるまち」「笑顔あふれるまち」を目指し、老人ホームや市役所前広場などでライブを行っています。「NICE! 藤井寺バンド」の「バンド」は人と人をつなぐという意味。音楽を通して地域住民の親睦を図り、人と人をつなげることを目標に活動しています。

活動場所 ふれあいプラザ・松水苑・自治会など
活動日時 随時 (火曜日・木曜日は練習日)
問合せ先 二井 090(6600)2108



イベントサークルクローバー

大好きな地元で、色んな人が交流して楽しめる場所を作りたい。そんな思いで、「クローバー手作り市」を開催しています。他にも、「パープル&社協フェスタ」、「よさこいインふじいでら」との合同企画も開催。楽しい事が大好き!という方、ぜひ一緒に活動しましょう!

活動場所 パープルホール・LIC はびきの
活動日時 年3回程度
問合せ先 中辻 090(9988)0766



藤井寺市食生活改善推進協議会

栄養バランスのとれた食生活から健康づくりを広め、介護予防につなげたいとの思いで活動しています。夏休みには親子クッキングを行い、乳幼児健診では、手づくりおやつを提供し、食に関する正しい情報と手づくりの大切さを伝えています。

活動場所 保健センターなど
活動日時 不定期
問合せ先 市健康課 072(939)1112



ほっとタイム - 親の会 in 藤井寺 -

学校に行かない・行けないといった子どもをもつ親同士の集まりです。気兼ねなく話せて、少しでもホッとできる交流の場として会を開いています。子どもの年齢は小学生から30歳代くらい。学校や社会との付き合い方や暮らし方も様々です。同じ立場の人同士話合ってみませんか。

活動場所 パープルホール
活動日時 第1月曜日 10時～13時
(祝日の場合も第1月曜日)
問合せ 里中 080(3132)2845



ふじいでらブロカント

「長く愛されてきた、古き良きモノ達との出会い」をコンセプトに、食器・物入れなどの古道具や、人形などのアンティークを中心とした市を開催しています。市民の方や他市から来られた方に「藤井寺市にも、こんな魅力的な骨董市(ブロカント)があるんだ!」と楽しんで頂きたいです。

活動場所 市役所前広場
活動日時 年3回
問合せ 西山 090(7768)5492



よさこいサークル不知火組

健康促進・認知症予防のために、楽しくよさこいをしています。体育館で練習して、市内や近畿圏内のよさこいイベントに参加しています。色々な年代の方が楽しめるようなよさこいを目指しています。初心者の方でも大歓迎ですので、お気軽にお越しください!

活動場所 市民総合体育館
活動日時 土曜日 19～21時
問合せ 竹崎 090(1919)3813



藤井寺市母子寡婦福祉会

藤井寺市内の母子家庭や寡婦の方で、情報共有・仲間づくり・母子福祉の向上を目的に活動しています。同じ立場を経験してきた仲間だからこそ、理解し合えることがたくさんあります。孤立しがちなお母さんを支え、生活の向上を図る活動をしてみませんか?

活動場所 福祉会館
活動日時 第1・3火曜日 9～17時
問合せ 福森 072(973)2652



クリーンボランティア一粒会

駅周辺の清掃を通じて、地域社会のモラルとマナーの向上を目指しています。たばこの吸い殻や空き缶など、ゴミが少なくなったことを実感できると、気持ちもスッキリ! 藤井寺をきれいなまちにしましょう。

活動場所 藤井寺駅周辺
活動日時 第3日曜日 9～10時
問合せ 松山 072(955)1268



地域活動栄養士会オリーブ

近頃、朝食を食べない人の増加や伝統的な食文化が失われつつあるなど、食に対する意識が希薄になりがちです。私たちは食育や高齢者栄養などの勉強を行い、地域の皆様の健康づくりに関わっています。料理教室や食育講座の依頼もお受けしています。

活動場所 藤井寺保健所など
活動日時 第2月曜日(定例会)
問合せ 藤井寺保健所企画調整課栄養士 072(955)4181



NICE! 藤井寺・松水苑健康デカ麻雀クラブ

手づくりの大きな木製の麻雀牌を使って、和気あいあいと健康麻雀を楽しんでいます。高齢者の引きこもりや認知症を予防し、健全な老後を過ごすことを目指して活動しています。

活動場所 松水苑
活動日時 第2金曜日, 第1・3土曜日 10～15時
第2火曜日 12時30分～15時
問合せ 下里 072(953)7502



ほっとスペース

藤井寺市を中心に、心理カウンセリングを行っています。カウンセリングを受けることは、特別なことではありません。安心して日々を過ごせるように、共に考えましょう。誰かに相談することが、当たりまえの社会になることを願い、毎月無料でカウンセリングを行っています。お気軽にお問い合わせください。

活動場所 Facebookにて掲載
活動日時 QRコードから見れます。
問合せ @hotto8010@gmail.com





ふじいでら手づくり市実行委員会

葛井寺・辛國神社を中心に藤井寺に面白いイベントを増やして、まちを活性化させたいとの思いから、手づくり市を開催しています。木工、雑貨、焼き菓子など種類は様々！手づくりでこんなものができるんだと感動します。ぜひ、一緒に楽しい手づくり市を作りましょう！

活動場所 葛井寺・辛國神社・ブクンダ公園
活動日時 年3回
問合せ 西山 072(937)1997



子育て支援グループアイセル

「地域で子育て」をモットーに、子育て中のママの仲間づくりをサポートしたいとおしゃべりサロンを開いています。核家族化が進み、子育てのちょっとした悩みを気軽に相談できる相手が減ってきています。ぜひ、「子育てママのおしゃべりサロン」に参加して、同じ境遇の仲間を作りませんか。

活動場所 アイセルシュラホール
活動日時 第3水曜日 10時30分～11時30分
問合せ 松島 090(3673)8721



おはなしころりん

昔話を覚えて、子ども達に語っています。おはなしの楽しさを伝えるために図書館・幼稚園・保育園・小学校などで、おはなし会を開いています。子ども達がおはなしを聞きながら目をキラキラさせているのを見ると、心が安らぎます。

活動場所 図書館（第2・4土曜日）
活動日時 アイセルシュラホール（第3土曜日）
問合せ 図書館 072(938)2197



グループみらい

男女共同参画に取り組んでいます。ミーティングでの話し合いの中で、日々の生活には男女特有の問題があることに気づかされます。その気づきを自分らしく生きるヒントにつなげられるよう活動しています。また、ミーティングで出たアイデアを生かして講座の企画・運営を行っています。

活動場所 男女共同参画ルーム（パープルホール本館3階）
活動日時 月2～3回程度 ※定例会は第2水曜日
問合せ 難波 072(955)2746（FAXのみ）



お手玉サークル遊

最近、加齢による虚弱（フレイル）対策が話題になっています。昔ながらのお手玉や、ゴムつきのヨーヨーお手玉を使った体操は前頭前野に良いです。笑いながら全身体操をすることで集中力がつき、健康寿命を延ばす効果があります。老若男女、年齢を問いません。一緒に楽しみましょう。

活動場所 福祉会館
活動日時 第1水曜日 13時30分～
第4火曜日 10～15時
問合せ 吉留 072(939)0799



傾聴ボランティアやまびこ

傾聴ボランティアとして、地域の老人施設を訪問して、利用者の方の様々な思いや言葉に耳を傾けています。その方のお話を聴き、穏やかな表情を見ることができると、少しは気持ちに寄り添えたかなと嬉しくなります。

活動場所 老人福祉施設など
活動日時 月7回程度
問合せ 林 072(937)1002



藤井寺市青少年リーダー協議会

地域の子ども会行事に出向き、クリスマス会やお楽しみ会で、レクリエーションやゲームなどの遊びを子ども達と一緒に楽しんでいます。子どもにリーダーネームを覚えてもらったり、「楽しかったよ」って言ってもらえる疲れが吹き飛び、やりがいを感じることができます！

活動場所 アイセルシュラホール、各小学校など
活動日時 不定期
問合せ 市教育委員会 生涯学習課 072(952)7800



点訳サークル藤井寺六星会

視覚障がい者の方々のために、広報ふじいでらの点字版をはじめとした様々な本の点訳や、視覚障がい者の会（たんぼぼの会）との交流会を行っています。目の見えない人と見える人が一緒に絵本を楽しめるように、透明なシートに文章を1点1点コツコツと手打ちしています。

活動場所 福祉会館
活動日時 火曜日 10～17時
金曜日 13～17時
問合せ 社会福祉協議会 072(938)8220



はぐくみ食堂

市民目線に立った活動で地域で子どもを見守り、食を通して一人暮らしの高齢者も参加しやすい居場所づくりをしています。少子高齢化、核家族、地域社会にあって孤立しやすい人の灯となってほしいです。ぜひお越しください！

活動場所 杜の灯・小山会館
活動日時 月1回程度
問合せ先 下井 090(4829)5096



笑わスペース

藤井寺駅近くの古民家で、月1回こども食堂「笑わ食堂」を開催しています。誰もが楽しく参加し、人と人がつながり笑顔になれる場所に！を目指しています。『ゆったり、まったり、ほっこり』の笑わスペースに皆さん遊びに来てください！

活動場所 岡 2-3-17
活動日時 月1回程度
問合せ先 木下 090(8521)0762



春日丘いぬ・ねこ会

春日丘地区を中心に TNR 先行型地域猫活動（野良猫に不妊手術を行い、元の場所に返す）や、保護された猫や犬に“ずっとのおうち”を見つける活動を行っています。その他にも、獣医さんによる勉強会なども実施中！活動に興味のある方のご連絡をお待ちしています。

活動場所 春日丘地域
活動日時 ホームページにて掲載
<https://kasugaokainuneko.amebaownd.com/>
問合せ先 nanakouchans@yahoo.co.jp



サンフラワー ～子育てに難しさを感じる親のための会～

子どもの発達に悩む親の仲間づくりや情報交換の場として、おしゃべり会「ピアマムズ」を開催しています。専門家や療法士、ペアレントトレーナーなどのゲストをお招きするスペシャル会も年に数回開催しています。子育てで悩んだら抱え込まずにおはなしに来てくださいね。

活動場所 福祉会館・松原市はーとビュー
活動日時 月1回程度
問合せ先 LINE ID: @ewl1275d
sunflower0852525@gmail.com



市民活動の情報コーナー

1. シルミルいんぷお



市役所
1階ロビー

市民活動団体PRチラシやイベントチラシを置いています。きっと素敵な活動が見つかりますよ！

2. 市民活動情報をタイムリーにキャッチ！

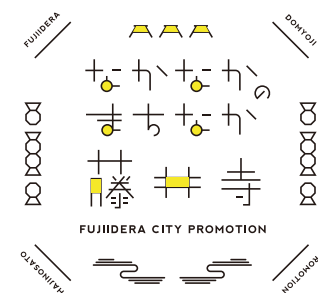
市民活動情報の最新情報をSNSで発信しています！



藤井寺市シティプロモーションビデオ第2弾
～改札を抜けると世界遺産～古墳のまちな日常編

古墳のまちな日常

YouTube
で絶賛公開中！



藤井寺市プロモーションサイト

なかなかのまちなか



official instagram

藤井寺に行きたくなる、
もっと好きになる、
みんなのおすすめの
スポット・お店・イベント
が盛りだくさん。

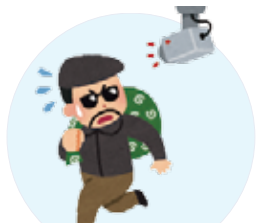
自治会 de ボランティア活動!

「自治会」というと、よく知っているようで、本当のところどんな活動をしているか知らない方も多いのではないのでしょうか？
ここでは活動の一部をご紹介します。
実は、自治会って皆さんの日々の暮らしに密着した活動なんです。



防犯カメラを普及・管理しているのは **じっ実は!**

防犯カメラを普及しているのは、市や警察だと思いませんか？
実は、自治会が地域の安心・安全のために取り組んでいます。防犯カメラがあることで、犯罪抑止につながっています。



防犯カメラの普及・管理

子どもが安全に通学できるのは **じっ実は!**

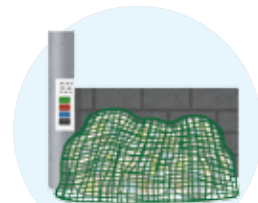
子どもが学校へ行く時、見守り活動をしている人を見かけませんか？
実は、自治会や地域の人が協力して、子どもが安全に通学できるよう見守ってくれています。毎日挨拶をすると地域の絆も深まりますよね。



子どもの見守り

ごみステーションの場所を管理しているのは **じっ実は!**

ごみステーションの場所は市やごみの収集業者が決められている人も多いのでは？実は、隣近所の人々が実情に合わせて場所を決めています。カラス除けネットやゴミ出し後の清掃など、皆さんで協力しながらステーションは管理されています。



ごみステーションの管理

地域活動の第一歩始めてみませんか

自治会は、地域に暮らす人たちが日常生活に密着したさまざまな取り組みを通して、住みよいまちづくりを進める住民組織です。防犯パトロールや防災訓練、お祭りや運動会などのイベント、美化活動などを行っています。いざという時にお互いに助け合い協力し合えるようにするには、日頃からのつながり作りは欠かせません。地域の絆を強めるためにも自治会に参加しましょう。

自治会へ参加されたい方は、近所の役員さんにお問い合わせください。役員さんがわからない場合は、藤井寺市役所協働人權課までお問い合わせください。

区長さんにインタビュー!

“協働”して地域を盛り上げる

大井住宅地区
区長 奥野 廣吉 さん

大井地区
区長 西野 喜則 さん

いっちょやったらか!!

大井・大井住宅 合同で行う

盆踊り大会



■大井地区と大井住宅地区の連携のきっかけは?

西野：9年前まで、夏に盆踊り大会をやっていたんですよ。何十年と続けられてきた歴史ある盆踊り大会でしたが、運営側の高齢化や人手不足によって、泣く泣く中止に追い込まれてしまっただけで、地域を盛り上げていくためにも、歴史ある盆踊り大会を何とか復活させたくて、自治会だけで準備が大変なら、ほかの団体と一緒にできないか考えたんです。そこで、隣の大井住宅地区の奥野区長に声をかけたら「やるか!」と二つ返事で応えてくれました。とても頼りになる先輩です。

奥野：大井住宅地区だけでは、あんな大きな祭りはできないので、声をかけてもらって感謝です。場所も大井住宅の前の公園となれば好都合!!特に高齢者は、行動範囲が狭くなるし、家にこもりがち。少しの時間でも外に出て、人とのつながりをつくる機会にしてほしいと思っています。

■昨年で2回目の合同開催なんです。工夫された点がありますか。

奥野：自治会役員だけでなく、若い人の意見も取り入れて一緒に準備を進めました。「椅子を準備しようか」「車いすスペースも作ろうか」などいろいろなアイデアも出してきて、率先して動いてくれるので頼もしかったです。あと驚いたのは、祭りに来てくれた人の数が前回と比べてすごく増えたんです。皆さんのクチコミのおかげですね。

西野：青年団が、祭りの運営補助から出店の準備など地域のために活躍してくれています。出店のメニューも、

今大人気のタピオカドリンクは「売れるやろお!!」と自信满满でしたが、全然売れなかったみたいです(笑)。ほかに地域の少年野球チームに「店を出してくれへん?」と声をかけると、「儲かりますか? (笑)」と冗談を言い合いながら、「大井のためなら!」と言って快く引き受けてくれました。最近、近所づきあいが煩わしいから、自治会に入らないという人もいる一方で、地区のために「いっちょやったらか」という協力的な人もたくさん居てくれて助かってます。「こんなんで困ってんねん」「それなら手伝うやん」と言い合える関係をもっと広げていきたいです。

■今後どのような取り組みをしていきたいですか。

西野：大井地区は昔から住んでいる人たちも多いですが、最近では新しく引っ越してこられた人もたくさんおられます。せっかく縁あって同じ大井地区に住むことになった者同士、これまでやってきた事を守りながら、前向きな意見を出し合って“ええ地域”にしていきたいと思っています。そのためには、まず地域の人同士がつながるきっかけをどんどん作っていきたいです。

奥野：大井住宅地区は200世帯余りと小さい地区です。小さい地区は小さいなりにメリットもありますが、活動が限られてしまったり、解決しがたいこともあります。大井地区とはもちろんですが、様々な分野で活動している団体や学校とも、うまく連携しながらお互いに支え合える地域をつくっていきたいです。

